

令和5年度 年間指導計画

A科:動物科学科 B科:植物科学科 C科:食品科学科 D科:人間科学科 E科:環境科学科

教科	保健体育	科目	保健	単位数	1	学年・学科	1学年・全学科
教科書	大修館「現代高等保健体育」		副教材	大修館「現代高等保健体育ノート」			

学習目標	保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を育成します。
学習方法	○2クラスまたは1クラスの共修となります。 ○指定の教科書とノートを使用し学習します。 ○ICTを活用したパワーポイントによる学習や映像視聴で学習します。

	評価の観点	評価の観点の趣旨	学期	重み付け	割合	
					考查	考查以外
学習評価	a 知識・技能	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。	前期中間	40 %	0	40
			前期末	40 %	30	10
			後期中間	40 %	0	40
			後期末	40 %	30	10
	b 思考力・判断力・表現力等	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を身につけている。	前期中間	30 %	0	30
			前期末	30 %	15	15
			後期中間	30 %	0	30
			後期末	30 %	15	15
	c 主体的に取り組む態度(意欲)	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を身につけている。	前期中間	30 %	0	30
			前期末	30 %	15	15
			後期中間	30 %	0	30
			後期末	30 %	15	15

学期	単元名(題材)	学習内容(小単元)	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			a	b	c		
前期中間	1 健康の考え方と成り立ち	・わが国における健康水準の向上について学びます。	○		○	a:感染症が減り、生活習慣病がなぜ増えてきたのかの原因を学ぼうとしている。 c:資料から現在の日本の健康水準を読み取ることができる。	・行動観察 ・保健ノート
	2 私たちの健康の姿	・健康についての多様な考え方について学びます。		○		b:生活の質を重視した健康観を総合的に考えることができる。	
	3 生活習慣病の予防と回復	・生活習慣病と、その予防について学びます。			○	c:健康要因は主体要因と環境要因が相互に関係していることや、個人的な要因と社会的な要因が影響を及ぼしていることを理解している。	
	4 がんの原因と予防	がんの種類や原因について考えます。	○			a:がんの主な種類について説明でき、一次予防・二次予防について理解できる。	
	5 がん治療と回復	がんの治療法や緩和ケアについて社会的政策を踏まえ学びます。	○			a:がんの主な治療法や緩和ケアについて説明でき、普及や情報サービスば整備などの社会的サービスについて理解している。	
	6 運動と健康	・健康からみた運動の意義や運動習慣の形成について学びます。			○	c:健康からみた運動の意義を学び、将来にわたり運動を継続するために何が必要か理解している。	
	7 食事と健康	・健康的な食生活の重要性と意義を学び、健康的な食生活習慣の形成についても学びます。			○	b:食生活は将来の健康に重要であるため、健康的な食生活の例を具体的に説明できる。 c:健康の保持増進に食事は重要な要素であることを理解している。	

前期末	8 休養・睡眠と健康	・休養・睡眠の意義と、よりよい休養・睡眠のとり方について学びます。		○	c:睡眠は重要であることを理解でき、疲労について知り、より良い休養・睡眠のあり方も理解している。	・行動観察 ・保健ノート ・単元テスト ・定期考査
	9 喫煙と健康	・喫煙の健康や、喫煙開始の要因と依存性、喫煙への対策について学びます。		○	c:喫煙は医療費の増大や労働力の損失など社会全体の問題であることを理解している。	
	10 飲酒と健康	・飲酒の健康影響と、飲酒開始の要因と社会問題、飲酒への対策について学びます。		○	○ b:飲酒問題を自分たちにかかわらせて理解できる。 c:飲酒による健康への短期的影響、長期的影響を理解している。	
	11 薬物乱用と健康	・薬物乱用の健康影響について学びます。また、薬物乱用開始の要因と社会問題についてや、薬物乱用の防止と対策についても学びます。		○	○ b:薬物乱用防止には個人への対策と社会環境への対策が必要であることを理解することができる。 c:薬物乱用が心身の健康に及ぼす深刻な悪影響を理解し、社会問題についても理解する。	
後期中間	12 精神疾患の特徴	・現代における精神疾患の発病の要因について学びます。	○	○	a:精神疾患の発病・要因について説明できる。 c:現代社会における精神保健の課題をあげることができる。	・行動観察 ・保健ノート
	13 精神疾患の予防	・精神疾患を予防する方法について学びます。		○	c:精神疾患の予防する方法、早期発見のために必要なことを理解できる。	
	14 精神疾患からの回復	・精神疾患の治療について学びます。		○	c:精神疾患の適切な治療について、どのような社会環境が必要か説明できる。	
	15 現代の感染症	・感染症とは何かを学び、新たに注目される感染症や、再び問題となっている感染症についても学びます。		○	c:感染症の予防は大きな社会問題になっていることを理解する。また、再興感染症の発生や流行は自然環境や社会環境の変化がかかわっていることを理解している。	
	16 感染症の予防	・感染症予防の原則を学び、現代の感染症対策についても学びます。		○	c:性感染症およびエイズについての予防対策を個人および社会の両面から理解できる。	
	17 性感染症・エイズとその予防	・性感染症およびエイズについて、その予防方法を学びます。		○	b:性感染症およびエイズについての予防対策を個人および社会の両面から理解できる。	
後期末	18 健康に関する意思決定・行動選択	・意志決定・行動選択とそれに影響を与える要因や、健康的な意志決定・行動選択を実現する工夫について学びます。		○	b:心の健康な状態と自己実現への歩みは、車の両輪のようなものであることを理解している。	・行動観察 ・保健ノート ・単元テスト ・定期考査
	19 健康に関する環境づくり	・健康づくりを支える環境についてや、ヘルスプロモーションの考え方にもとづく環境づくりについて学びます。		○	b:情報を収集し思考・判断し計画を立案できる。 c:個人の適切な行動を支援する社会環境づくりの必要性を理解している。	
	20 事故の現状よ発生要因	・現代社会で起こりうる事故の実態と被害の実態について学びます。		○	c:事故の発生には人的要因と環境要因が関連していることを理解している。	
	21 安全な社会の形成	・車の安全性の向上について学びます。		○	b:安全な社会づくりには、環境の整備が重要であることについて理解したことを発言・記述できる。	
	22 交通における安全	・交通事故の責任と補償について学びます。	○		a:交通事故を防止するには生命尊重と運転者の心身の状態・車両の特性について理解している。	
	23 応急手当の意義とその基本	・応急手当の手順について学びます。	○		a:心肺蘇生法に関心を持ち、正しい技術を支える根拠となる原理を理解し取り組もうとしている。	
	24 日常的な応急手当	・熱中症の応急手当について学びます。	○		a:心肺蘇生法に関心を持ち、正しい技術を支える根拠となる原理を理解し取り組もうとしている。	
	25 心肺蘇生法	・心肺蘇生法の手順について学びます。	○		a:適切な判断と応急手当の方法と、けがを予防する方法について積極的に学ぼうとしている。	